学校だより けやけき木

大府市立東山小学校

「学校評価のお知らせ」

令和5年3月15日 第60号

よりよい学校づくりをめざして、児童（5・6年生）及び保護者のみなさま、教師を対象にアンケート調査を実施しました。結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

現在、これらのアンケート結果を参考にして、来年度の指導の在り方や行事のもち方等について検討を進めています。また、保護者のみなさまから自由記述としていただきました貴重なご意見等につきましても、今後の教育活動の参考にさせていただきます。

今後も、校訓「なかよく かしこく まっすぐに」のもと、チーム東山小が一つになって学校づくりができるように努めてまいります。引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。

児童・保護者・教師アンケート結果と三者比較

◎＝「よくあてはまる」「あてはまる」の合計割合が80%以上
 ○＝「よくあてはまる」「あてはまる」の合計割合が70%以上～80%未満
 △＝「よくあてはまる」「あてはまる」の合計割合が70%未満

アンケート項目	④よくあてはまる ③あてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない				三者比較グラフ	結果	04 年度	前 年度 比	03 年度
	④	③	②	①					
1 あいさつができる					<p>三者比較グラフ 1 あいさつができる</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	◎	88.6	↑	83.2
児 わたしは、友達や先生と進んであいさつができている。	37.6	51.0	10.7	0.7		◎	82.3	↓	84.5
保 お子様は、友達や先生と進んであいさつができている。	25.5	56.8	16.1	1.6		◎	95.0	↑	91.7
教 私は、児童が進んであいさつができるよう指導している。	45.0	50.0	5.0	0.0					
2 学校が楽しい					<p>三者比較グラフ 2 学校が楽しい</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	◎	95.9	↑	89.2
児 わたしは、楽しくなかよく遊ぶ勉強もできている。	39.6	56.3	3.4	0.7		◎	90.9	↑	90.1
保 お子様は、学校が楽しいと感じている。	43.8	47.1	7.3	1.8		◎	100	↑	91.3
教 私は、児童が学校を楽しく感じられるよう、工夫・努力している。	45.0	55.0	0.0	0.0					
3 相談できる					<p>三者比較グラフ 3 相談できる</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	◎	94.6	↓	97.3
児 先生は、相談のつてくれる。	47.0	47.6	4.7	0.7		○	78.2	↑	75.0
保 お子様は、先生に気軽に相談できると感じている。	23.2	55.0	18.8	3.0		◎	90.0	↓	95.8
教 私は、児童が気軽に相談できるように心がけている。	35.0	55.0	10.0	0.0					
4 いじめのない学級・学校					<p>三者比較グラフ 4 いじめのない学級・学校</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	◎	88.0	↓	93.2
児 学校はいじめのない学級・学校をより努めている。	25.5	62.5	10.7	1.3		◎	92.2	↑	87.6
保 学校はいじめのない学級・学校をより努めている。	17.0	75.2	7.8	0.0		◎	100	→	100
教 私は、いじめのない学級づくりを努めている。	70.0	30.0	0.0	0.0					
5 間違っただ行動に指導					<p>三者比較グラフ 5 間違っただ行動に指導</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	◎	98.6	↑	95.2
児 先生たちは、いじめた行動には、しっかり注意してくれる。	72.4	26.2	0.7	0.7		◎	92.0	↑	90.1
保 先生たちは、子どもの間違っただ行動に、しっかりした対応をしている。	23.6	68.4	7.3	0.7		◎	100	↑	95.8
教 私は、児童の間違っただ行動に、しっかりした対応をしている。	65.0	35.0	0.0	0.0					
6 分かりやすい授業					<p>三者比較グラフ 6 わかりやすい授業</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	◎	97.3	↓	98.6
児 先生は、分かりやすい授業をしてくれる。	63.1	34.2	2.7	0.0		◎	86.5	↑	74.9
保 お子様は、ICT機器の活用等により、授業が分かりやすいと言っている。	20.9	65.6	12.4	1.1		◎	95.0	↓	95.8
教 私は、分かりやすい授業づくりのための授業改善を心がけている。	40.0	55.0	5.0	0.0					

7	話を聞く	④	③	②	①	<p>7 話を聞く</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	わたしは先生や友達の話をよく聞いている。	40.9	54.4	4.7	0.0		◎	95.3	↑	94.6
保	お子様は、先生や友達の話をよく聞いている。	29.6	57.1	11.9	1.4		◎	86.7	↑	84.7
教	私は、児童や友達の話をよく聞くように指導している。	60.0	40.0	0.0	0.0		◎	100	↑	91.7
8	表現力の育成	④	③	②	①	<p>8 表現力の育成</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	先生は、授業で発表する時間を多く作っている。	37.6	52.3	10.1	0.0		◎	89.9	↓	92.6
保	先生は、子どもたちの表現力(伝え合う力)を高める努力をし、成果を上げている。	18.8	68.4	11.9	0.9		◎	87.2	↑	85.1
教	私は、児童の表現力(伝え合う力)を高める努力をし、成果を上げている。	15.0	65.0	20.0	0.0		◎	80.0	↓	82.6
9	特色ある学校	④	③	②	①	<p>9 特色ある学校</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	けやきっ子運動等、締めの時間なども楽しい。	24.2	40.9	24.8	10.1		△	65.1	↓	81.7
保	学校は、けやきっ子運動等、特色ある学校づくりを行っている。	29.4	64.4	5.7	0.5		◎	93.8	↑	91.4
教	学校は、けやきっ子運動等、他校より独自の教育活動を行い、成果を上げている。	15.0	55.0	30.0	0.0		○	70.0	↓	75.0
10	読書タイム	④	③	②	①	<p>10 読書タイム</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	読書タイムはとても大切な時間だ。	36.9	44.9	14.8	3.4		◎	81.8	↓	88.5
保	学校は、読書タイムや体験活動などを大切にし、豊かな心を育てようとしている。	29.6	66.2	3.7	0.5		◎	95.8	↑	90.8
教	学校は、読書タイムや体験活動などを大切にし、豊かな心を育てようとしている。	30.0	65.0	5.0	0.0		◎	90.0	↓	91.7
11	各種行事	④	③	②	①	<p>11 各種行事</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	運動会等の各種行事がとても楽しみだ。	55.1	38.9	4.0	2.0		◎	94.0	↑	93.3
保	運動会等の各種行事は、豊かな心や自主性を育てている。	30.3	62.6	7.1	0.0		◎	92.9	↑	89.5
教	運動会等の各種行事は、豊かな心や自主性を育てている。	30.0	60.0	10.0	0.0		○	95.0	↑	75.0
12	将来の希望	④	③	②	①	<p>12 将来の希望</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	わたしは、将来の夢や希望を持っている。	43.0	34.2	16.1	6.7		○	77.2	↓	81.1
保	お子様は、将来の夢や希望を持っている。	25.0	57.5	15.4	2.1		◎	82.5	↑	80.0
教	私は、児童が将来の夢や希望をもてるように語っている。	15.0	65.0	20.0	0.0		◎	80.0	↑	75.0
13	体力づくり	④	③	②	①	<p>13 体力づくり</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	わたしは、体力づくりに心がけているから生活している。	27.5	45.0	23.5	4.0		○	72.5	↓	77.1
保	先生たちは、子どもに健全な心と健康な体をつくることを意識して指導している。	21.6	70.6	6.9	0.9		◎	92.2	↑	91.1
教	私は、児童の健全な心と健康な体をつくることを意識して指導している。	35.0	65.0	0.0	0.0		◎	100	↑	91.7
14	早寝・早起き・朝ごはん	④	③	②	①	<p>14 早寝・早起き・朝ごはん</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	わたしは、早寝 早起き、朝ごはんを心がけて生活している。	30.9	47.6	18.8	2.7		◎	78.5	↓	82.5
保	お子様は、早寝 早起き、朝ごはんを心がけて生活している。	32.6	49.7	17.0	0.7		◎	82.3	↓	82.6
教	私は、早寝 早起き、朝ごはんの大切さを指導している。	25.0	65.0	10.0	0.0		◎	90.0	↑	82.6
15	読書ボランティアや地域	④	③	②	①	<p>15 読書ボランティアや地域</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	読書ボランティアや地域の方も学ぶこととても楽しい。	20.8	55.7	19.5	4.0		○	76.5	↓	89.9
保	学校は、読書ボランティア等、家庭や地域の連携協力に努めている。	19.7	72.5	7.3	0.5		◎	92.2	↑	87.0
教	学校は、読書ボランティアや地域の方も学ぶことを、教育に生かしている。	35.0	50.0	15.0	0.0		◎	85.0	↑	70.9
16	HPや学校だより等で学校の様子を紹介	④	③	②	①	<p>16 HP等で学校の様子</p> <p>児童 保護者 教師</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				
児	ホームページや学校だより、学年通信は学校のことが分かりやすくなっている。	38.9	53.0	8.1	0.0		◎	91.9	→	91.9
保	学校は、学校だより等で教育内容や教育施設が分かりやすく伝えている。	23.6	66.8	8.9	0.7		◎	90.4	↑	74.9
教	学校は、学校だより等で教育内容や教育施設が分かりやすく伝えている。	35.0	55.0	10.0	0.0		◎	90.0	↑	66.6

17 環境問題への取り組み		④	③	②	①	17 環境問題への取り組み				
児	わたしは、電気や水を大切に、ゴミの減量など環境問題についてよく意識している。	23.5	52.3	23.5	0.7		○	75.8	↓	82.5
保	学校は、電気や水の大切さ、ゴミ減量など環境問題についてよく指導している。	12.8	67.1	19.0	1.1		○	79.9	↑	74.9
教	私は、電気や水の大切さ、ゴミ減量など環境問題についてよく指導している。	25.0	45.0	30.0	0.0		○	70.0	↓	73.9
18 児童の安全を守る		④	③	②	①	18 児童の安全を守る				
児	学校では、安全に生活することができる。	40.9	52.3	6.8	0.0		◎	93.2	↓	94.6
保	学校は、適切に交通安全や不審者対策を施し、子どもの安全を守っている。	19.5	67.9	11.7	0.9		◎	87.4	↓	88.4
教	学校は、適切に交通安全や不審者対策を施し、児童の安全を守っている。	50.0	50.0	0.0	0.0		◎	100	→	100
19 地震・風水害への対応		④	③	②	①	19 地震風水害への対応				
児	学校は、地震や風水害時の対応について分かりやすく説明し、適切な対応をしている。	42.3	53.0	4.7	0.0		◎	95.3	→	95.3
保	学校は、地震や風水害時の対応について分かりやすく説明し、適切な対応をしている。	10.6	72.9	16.5	0.0		◎	83.5	↑	82.5
教	学校は、地震や風水害時の対応について分かりやすく説明し、適切な対応をしている。	35.0	65.0	0.0	0.0		◎	100	↑	83.3
20 家庭・地域との連携		④	③	②	①	20 家庭・地域との連携				
児	先生は、必要があれば家への連絡してくれる。	46.3	44.3	9.4	0.0		◎	90.6	↓	93.9
保	学校は、保護者・地域の願いや声を聞こうとしている。	14.7	67.2	15.8	2.3		◎	81.9	↑	80.9
教	私は、家庭への連絡や意思の疎通積極的にやっている。	45.0	50.0	5.0	0.0		◎	95.0	↓	95.6
21 社会のきまりやマナー		④	③	②	①	21 社会のきまりやマナー				
児	わたしは、社会のきまりやマナーを守っている。	34.2	59.1	6.0	0.7		◎	93.3	↑	92.5
保	先生たちは、集団の秩序や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	19.3	73.1	7.1	0.5		◎	92.4	↑	90.5
教	学校は、集団の秩序や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	63.2	36.8	0.0	0.0		◎	100	↑	91.7
22 きらきらチャレンジウィーク		④	③	②	①	22 きらきらチャレンジウィーク				
児	わたしは、きらきらチャレンジとして家族や自分で決めた実践目標に取り組んでいる。	16.9	55.4	20.8	6.9		○	72.3	↓	75.7
保	お子様は、きらきらチャレンジとして家族や自分で決めた実践目標に取り組んでいる。	6.7	45.1	38.8	9.4		△	51.8	↓	64.2
教	きらきらチャレンジウィークでは、家族や自分で決めた実践目標に取り組むよう指導している。	40.0	50.0	10.0	0.0		◎	90.0	↑	43.4

1 アンケート結果の考察

(1) 児童・保護者・教師アンケート結果と3者比較について

「よくあてはまる」「あてはまる」と回答があった合計割合を達成率として考え、4年度と3年度を比較して見ていきたい。児童については、減少項目数が14項目と大きく増えた。増加項目数は6項目で大きく減っている。達成率が特に大きい項目は、「5先生は、いけない行動には、しっかり注意してくれる」「6先生は、分かりやすい授業をしてくれる」であった。子どもたちのことを見守り支えている教師の存在が安心して学校生活を送るうえでの基盤になっているようである。

児童の達成率減少の項目で特に下がったのが、「9けやきっ子活動等、縦割り活動の時間はとても楽しい」である。「15読書ボランティアや地域の方から学ぶことはとてもうれしい」「10読書タイムはとても大切な時間だ」についても達成率が減少している。本の世界を含む他者との関わりによって、その考えに触れることは豊かな心を育むうえで大切であるため、課題としたい。

保護者については、達成率増加の項目数が昨年度の4項目から今年度は18項目となり、大きく増えた。達成率が特に増加した項目は「学校は、ホームページや学校だより等で教育内容や教育方針を分かりやすく伝えている」であった。子どもたちを家庭と学校が両輪となって見守り、支え、育てていくためにも、情報の共有をしていきたい。

教師のアンケート結果では、達成率増加の項目数は昨年度よりも増えている。「2私は、児童が学校を楽しく感じられるよう、工夫・努力している」「5私は、児童の間違った行動に、しっかりした対応をしている」「7私は、児童や友達の話をよく聞くように指導している」の項目の達成率が100%になっていること

から、真摯に子どもに向き合い前向きに取り組む教師の姿が現れている。

三者共に達成率が増加した項目に「2 学校が楽しい」がある。この項目では児童の達成率が6.2%、教師の達成率は8.7%増加している。授業や行事などを教師が工夫・努力をしていることにより、学校生活を楽しくしている児童が増えていることを評価したい。

児童・保護者・教師の達成率に大きな差(20%以上の差)がある項目として、「1 3 体力づくり」がある。保護者92.2%・教師100%に対して児童は72.5%と低い。同様に「2 2 きらきらチャレンジ」も達成率に大きな差がある。教師90.0%に対して児童72.3%・保護者51.8%と低い。それぞれの活動の意図やねらいについて、しっかりと児童や保護者に伝え、取り組み方についての理解を促す必要がある。

(2) 対象別アンケート結果について

5・6年生児童へのアンケートは、本校の特色ある活動である異学年交流と、本年度から取組が変更された「きらきらチャレンジ」について中心に設問した。児童だけのアンケート結果からは、縦割り掃除での下級生との関係に難しさを感じていることがうかがえる。本校の特色である異学年交流が高学年にとってやりがいのある活動になっていない現状は改善をしたい。思いやりの心もち、協働する児童の育成に今一層取り組みたい。

保護者へのアンケート項目「1 この学校に通わせてよかった」は昨年度よりも、達成率が2.3%増加したが、そう思わなかった4.4%の保護者の意見を真摯に受け止めたい。「2 学校のホームページはよく見るか」の項目では、昨年度より達成度が6.5%減少している。本年度のホームページは、毎日更新しており、1日の閲覧数は約1,400件であるため、魅力ある記事を配信し続けるとともに、本校の保護者へ広報をしていく必要があると考える。

教師へのアンケートでは、「相談しやすい雰囲気がある」「業務内容や進め方の改善に取り組もうとしている」の項目は、ともに達成率は80%ではあった。しかし、「あまりそう考えない」と捉える教師が5分の1いる。よって、風通しのよい職場づくりや、子どもに向き合う時間の確保のための働き方改革をさらに進める必要があると考える。

2 まとめ

本年度は、新型コロナウイルス感染症予防の対策を行いながらも、さまざまな行事や活動を実施する方法を講じたことにより、保護者や地域のみなさまにご来校いただき、直接本校における教育活動を目にさせていただく機会を設けることができた。そして、児童や保護者・地域からの信頼回復に向けて、教職員が一丸となって取り組んでいる姿を見ていただくことができた。保護者と教師の達成率増加項目が増えたのは、その現れであると考えられる。

一方、児童の達成率減少項目が増えたことは、大きな課題である。特に「先生は相談にのってくれる」「学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている」といった児童の安心につながる部分や、「先生は、分かりやすい授業をしてくれる」「先生は、授業で発表する時間を多く作っている」といった授業に関する項目が減少したことは、看過してはいけない。児童に寄り添う教師、学び合う教師をめざし、児童の出すサインにアンテナを高くし、さらなる授業改革を進めていく。また、学校教育のあり方について、それぞれの立場からいただくご意見を受け止め、未来を担う子どもたちの健やかな成長のために職員一同真摯に取り組んでいきたい。

3 学校評議員の皆様のご意見から

- ・「あいさつ」や「早寝、早起き、朝ごはん」は家庭でのことだと捉えている。特にあいさつは、子どもに「あいさつをしなさい」と声をかけるより、あいさつをする周りの大人の姿を見て学んでほしいと思っている。
- ・「いじめはあるものだ」という視点で、今のようにアンケート調査や教育面談を行ってほしい。子どもたちの話に耳を傾け、気になったことにはすぐに対処していくことが大切である。
- ・保護者から「先生から子どもが一方的な指導をされた」と相談されたことがある。また、「希望は聞かれず、役割等は先生が決めた」と言っていた児童がいた。全てのことに希望を聞くのは難しいかもしれないが、子どもたちの自主性を育てるためにも子どもたちの意欲を大切にほしい。また、保護者の訴えにある思いをくみ取ったり、自分の指導が一方的になってはいないかと折に触れ振り返ったりしてほしい。